

【その他の事業セグメント】

平成27年3月期第2四半期連結累計期間(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(単位:億円)

	平成26年3月期 第2四半期連結累計期間 (平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで)	平成27年3月期 第2四半期連結累計期間 (平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで)	増減	増減率
営業収益	6,026	5,957	△69	△1.1%
営業費用	5,722	5,713	△8	△0.1%
営業利益	305	244	△61	△19.9%

当第2四半期連結累計期間の営業収益は、不動産事業やシステム開発事業の減収などにより5,957億円(前年同期比1.1%減)となりました。一方、営業費用は、人件費の減少などはあったものの、ほぼ横這いの5,713億円(前年同期比0.1%減)となりました。以上の結果、営業利益は、244億円(前年同期比19.9%減)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、1兆1,014億円の収入となりました。前年同期比では、3,352億円(23.3%)減少しておりますが、これは、銀行休業日の影響に加え、営業利益が減少したことや代理店に対する手数料の支払額が増加したことなどによるものであります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」については、9,511億円の支出となりました。前年同期比では、609億円(6.0%)支出が減少しておりますが、これは、設備投資や出資による支出が減少したことなどによるものであります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」については、1,370億円の支出となりました。前年同期比では、1,619億円(54.2%)支出が減少しておりますが、これは、自己株式の取得が減少したことなどによるものであります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間末におけるNTTグループの現預金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末と比較して50億円(0.5%)増加し、9,895億円となりました。

(単位:億円)

	平成26年3月期 第2四半期連結累計期間 (平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで)	平成27年3月期 第2四半期連結累計期間 (平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで)	増減	増減率
営業活動による キャッシュ・フロー	14,366	11,014	△3,352	△23.3%
投資活動による キャッシュ・フロー	△10,120	△9,511	609	6.0%
財務活動による キャッシュ・フロー	△2,989	△1,370	1,619	54.2%

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

NTTグループはお客様に選ばれ続ける“バリューパートナー”をめざして、サービス提供の在り方を見直し、NTTドコモの「新料金プラン」やNTT東日本・NTT西日本の「光コラボレーションモデル」といったこれまでにない積極的な施策を打ち出しました。その結果、業績予想を以下のとおり見直します。

営業収益につきましては、NTTドコモの「新料金プラン」が想定を上回るスピードでより多くのお客様のお申し込みをいただいたことや、一部端末価格を引き下げたことによる収入減を見込むことにより、当初計画比1,900億円減の11兆100億円に見直します。

一方、営業利益につきましては、営業収益の減に対しNTTドコモを中心にグループ各社においてコスト削減を可能な限り前倒しで取り組み、当初計画比1,200億円減の1兆950億円に修正いたします。

連結業績予想の前提条件その他の関連する事項については、22ページをご参照ください。